

検 査 課

VI 検査課の業務概要

当検査課では「千葉県検査業務運営要領」に基づき検査業務を実施している。

令和元年度に実施した業務は、臨床及び細菌検査業務、食品衛生検査業務、健康危機管理業務、精度管理事業であった。

1 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

エイズ対策としてH I V抗体検査 43 件，性感染症対策として梅毒検査を 43 件，肝炎対策としてC型肝炎ウイルス抗体検査を 43 件，B型肝炎ウイルス抗原検査を 43 件実施した。また，原子爆弾被爆者検診に係る検査として尿検査を 5 件実施した。

(2) 細菌検査

平常時対策としての腸内細菌検査は，給食従事者・食品取扱業者・水道施設従事者及びその他に対する赤痢菌・チフス菌・パラチフスA菌検査を 1,619 件，腸管出血性大腸菌O 1 5 7 検査を 1,818 件実施した。

2 食品衛生検査業務

(1) 食品細菌検査

食品衛生法に基づき，収去食品等（豆腐・大豆加工品，給食，弁当・惣菜，旅館ホテル調理品，生食用鮮魚介類，カットフルーツ，洋生菓子，調理パン，冷凍食品等）について検体数 186 件 818 項目実施した。

(2) 乳類規格試験

市販の牛乳等について，検体数 3 件 14 項目検査を実施した。

3 健康危機管理検査業務

(1) 感染症発生に伴う検査

チフス菌について，1 事案 7 検体，腸管出血性大腸菌O 1 5 7 について，1 事案 7 検体検査を実施した。

(2) 食中毒及び苦情食品等の検査

16 事案について，食品・便・ふきとりの 193 検体 3,921 項目検査を実施し，黄色ブドウ球菌，セレウス菌，ウエルシュ菌，ノロウイルス，ロタウイルスを検出した。

4 精度管理事業

検査結果の信頼性を確保するため，食品検査については食品衛生法施行規則第 37 条第 3 号の規定により内部精度管理調査，規則第 37 条 4 号の規定により外部精度管理調査を実施した。

(1) 内部精度管理

繰り返し試験と食品検査毎に添加回収試験，陽性対照試験を実施し，良好な結果であった。

(2) 外部精度管理

食品薬品安全センター主催の調査に 6 回 6 項目参加し，良好な結果であった。千葉県衛生研究所主催のカンピロバクター属菌の馬尿酸塩分解能試験及びノロウイルス検出について，良好な結果であった。国立医薬品食品衛生研究所主催の厚生労働科学研究費補助金で実施する一般生菌数技能試験に参加し，良好な結果であった。

1 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

表 1 - (1) 臨床検査実施状況

(単位：件)

区 分		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	
血 液	梅毒	TP 法	34	47	43
		STS 法	34	47	43
	HIV 抗体		43	49	43
	HCV 抗体		37	51	43
	HB s 抗原		38	51	43
	その他		—	—	—
尿	糖		15	14	5
	蛋 白		15	14	5
	ウロビリノーゲン		15	14	5
	潜 血		15	14	5
便	寄生虫	塗沫鏡検	—	—	—
		ぎょう虫卵	—	—	—

(2) 細菌検査

表 1 - (2) 平常時対策としての腸内細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分	計	給食施設 従事者	食品 取扱業者	水道施設 従事者	その他
平成 2 9 年度	3, 882	1, 053	121	222	2, 486
平成 3 0 年度	3, 612	902	94	166	2, 450
令和元年度	3, 437	910	91	150	2, 286
赤痢菌・チフス菌・パラチフス A 菌・ サルモネラ属菌※1	1, 619	383	30	75	1, 131
腸管出血性大腸菌 0157	1, 818	527	61	75	1, 155
その他の菌	—	—	—	—	—

※ 1 : サルモネラ属菌は希望者のみに実施

※ 2 : () 内は陽性数の再掲：陽性時のみ記載

2 食品衛生検査業務

(1) 食品細菌検査

表 2 - (1) 食品細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度
検 体 数		206	205	186
項 目 数		902	890	818
項 目 内 訳	細菌数（生菌数）	200	199	186
	大腸菌群の有無	191	191	178
	黄色ブドウ球菌	172	171	159
	サルモネラ属菌	132	132	122
	腸炎ビブリオ	22	23	22
	腸炎ビブリオ最確数	10	10	10
	カンピロバクター	20	11	13
	E. coli の有無	13	12	8
	E. coli の最確数	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0157	132	131	120
	腸管出血性大腸菌 026	2	2	—
	腸管出血性大腸菌 0111	2	2	—
	腸管出血性大腸菌 0103	2	2	—
	腸管出血性大腸菌 0121	2	2	—
腸管出血性大腸菌 0145	2	2	—	

(2) 乳類規格試験

表 2 - (2) 乳類規格試験実施状況

(単位：件)

区 分		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度
検 体 数		3	3	3
項 目 数		14	18	14
項 目 内 訳	細菌数（生菌数）	2	3	2
	大腸菌群の有無	3	3	3
	乳酸菌数	1	—	1
	比重	2	3	2
	酸度	2	3	2
	無脂乳固形分	2	3	2
	乳脂肪分	2	3	2

3 健康危機管理検査業務

(1) 感染症発生に伴う検査

表3- (1) 感染症発生に伴う検査実施状況

(単位：件)

区 分	事 案 数	計	便			その他
			経過者 ・患者	接触者 ・家族	その他	
平成29年度	1	20	6	10	—	4
平成30年度	62	604	122	119	350	13
令和元年度	3	17	9	8	—	—
コレラ菌	—	—	—	—	—	—
赤痢菌	—	—	—	—	—	—
チフス菌	1	7	6	1	—	—
パラチフスA菌	—	—	—	—	—	—
腸管出血性大腸菌 O157	1	7	—	7	—	—
腸管出血性大腸菌 O26	—	—	—	—	—	—
腸管出血性大腸菌 O121	—	—	—	—	—	—
腸管出血性大腸菌 O103	—	—	—	—	—	—
腸管出血性大腸菌 型不明	—	—	—	—	—	—
結核菌：塗抹鏡検 培養	1	3	3	—	—	—

(2) 食中毒及び苦情食品等の検査

表3-(2)-ア 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	食品	便	吐物	ふきとり	その他	
事案数								
平成29年度	21	検体数	318	48	184	7	79	—
		項目数	6,191	946	3,689	147	1,409	—
平成30年度	12	検体数	171	4	139	—	28	—
		項目数	3,355	80	2,981	—	294	—
令和元年度	16	検体数	193	13	148	—	32	—
		項目数	3,921	260	3040	—	621	—
項目 内 訳		コレラ菌	183	13	139	—	31	—
		赤痢菌	183	13	139	—	31	—
		チフス菌	183	13	139	—	31	—
		パラチフスA菌	183	13	139	—	31	—
		腸炎ビブリオ	183	13	139	—	31	—
		NAGビブリオ	183	13	139	—	31	—
		ビブリオ ミミクス	183	13	139	—	31	—
		ビブリオ フルビアリス	183	13	139	—	31	—
		黄色ブドウ球菌	184	13	139	—	32	—
		サルモネラ属菌	183	13	139	—	31	—
		セレウス菌	183	13	139	—	31	—
		ウエルシュ菌	183	13	139	—	31	—
		カンピロバクター	183	13	139	—	31	—
		エルシニア エンテロコリチカ	183	13	139	—	31	—
		エロモナス フィドロフィア	183	13	139	—	31	—
		エロモナス ソブリア	183	13	139	—	31	—
		プレジオモナス シゲロイデス	183	13	139	—	31	—
		下痢原性大腸菌	183	13	139	—	31	—
		腸管出血性大腸菌 0157	183	13	139	—	31	—
		腸管出血性大腸菌 026	183	13	139	—	31	—
		ノロウイルス	144	—	144	—	—	—
		ロタウイルス	58	—	58	—	—	—
		アデノウイルス	58	—	58	—	—	—
	大腸菌群	—	—	—	—	—	—	
	細菌数(生菌数)	—	—	—	—	—	—	
検出菌等 内訳		黄色ブドウ球菌	36	—	36	—	—	—
		セレウス菌	1	1	—	—	—	—
		ウエルシュ菌	19	1	18	—	—	—
		ノロウイルス	70	—	70	—	—	—
		ロタウイルス	7	—	7	—	—	—

4 精度管理事業

(1) 内部精度管理

表4- (1) 内部精度管理実施状況

項 目		実施回数
添加回収試験	細菌数 (生菌数)	40
繰り返し試験	細菌数 (生菌数)	1
	牛乳理化学	—
陽性対照	腸管出血性大腸菌 0157	13
	腸管出血性大腸菌 026	—
	腸管出血性大腸菌 0111	—
	腸管出血性大腸菌 0103	—
	腸管出血性大腸菌 0121	—
	腸管出血性大腸菌 0145	—
	黄色ブドウ球菌	16
	大腸菌	24
	サルモネラ	13
腸炎ビブリオ	3	

(2) 外部精度管理

表4- (2) 外部精度管理実施状況

外部精度管理調査機関	調査項目
一般財団法人 食品薬品安全センター	大腸菌群 一般細菌数 黄色ブドウ球菌 E. coli サルモネラ属菌 腸内細菌科菌群
千葉県衛生研究所	カンピロバクター属菌の馬尿酸分解能試験 ノロウイルス (リアルタイムPCR)
国立医薬品食品衛生研究所	一般生菌数